

福島第一原子力発電所 土壌中のガンマ線核種分析結果 <1/3>

1. 測定結果 発電所構内における土壌のガンマ線核種分析結果は下表の通り。 (データ集約:5/20)
(単位:Bq/kg・乾土)

試料採取場所		【定点】*1 グラウンド (西北西約500m)*2	【定点】*1 野鳥の森 (西約500m)*2
試料採取日		2016年1月12日	2016年1月12日
分析機関		株式会社 化研	株式会社 化研
核種	I-131(約8日)	ND	ND
	I-132(約2時間)	ND	ND
	Cs-134(約2年)	3.4E+04	3.6E+03
	Cs-136(約13日)	ND	ND
	Cs-137(約30年)	1.6E+05	1.9E+04
	Sb-125(約3年)	ND	ND
	Te-129m(約34日)	ND	ND
	Te-132(約78時間)	ND	ND
	Ba-140(約13日)	ND	ND
	Nb-95(約35日)	ND	ND
	Ru-106(約370日)	ND	ND
	Mo-99(約66時間)	ND	ND
	Tc-99m(約6時間)	ND	ND
	La-140(約40時間)	ND	ND
Ag-110m(約250日)	ND	ND	

*1 過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。

*2 1,2号機スタックからの距離

2. 評価 平成21年度に福島県で測定した土壌のガンマ線核種分析結果は以下の通りである。これと比較して高い濃度の放射性物質が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

< H21年度福島県による土壌分析結果 >

Cs-137:ND ~ 21Bq/kg・乾土, その他:ND

福島第一原子力発電所 土壌中のガンマ線核種分析結果 < 2/3 >

1. 測定結果 発電所構内における土壌のガンマ線核種分析結果は下表の通り。 (データ集約:5/20)
(単位:Bq/kg・乾土)

試料採取場所		【定点】*1 グラウンド (西北西約500m)*2	【定点】*1 野鳥の森 (西約500m)*2
試料採取日		2016年2月8日	2016年2月8日
分析機関		株式会社 化研	株式会社 化研
核種	I-131(約8日)	ND	ND
	I-132(約2時間)	ND	ND
	Cs-134(約2年)	6.2E+03	1.5E+04
	Cs-136(約13日)	ND	ND
	Cs-137(約30年)	2.9E+04	7.2E+04
	Sb-125(約3年)	ND	ND
	Te-129m(約34日)	ND	ND
	Te-132(約78時間)	ND	ND
	Ba-140(約13日)	ND	ND
	Nb-95(約35日)	ND	ND
	Ru-106(約370日)	ND	ND
	Mo-99(約66時間)	ND	ND
	Tc-99m(約6時間)	ND	ND
	La-140(約40時間)	ND	ND
Ag-110m(約250日)	ND	ND	

*1 過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。

*2 1,2号機スタックからの距離

2. 評価 平成21年度に福島県で測定した土壌のガンマ線核種分析結果は以下の通りである。これと比較して高い濃度の放射性物質が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

< H21年度福島県による土壌分析結果 >

Cs-137:ND ~ 21Bq/kg・乾土, その他:ND

福島第一原子力発電所 土壌中のガンマ線核種分析結果 < 3/3 >

1. 測定結果 発電所構内における土壌のガンマ線核種分析結果は下表の通り。 (データ集約:5/20)
(単位:Bq/kg・乾土)

試料採取場所		【定点】*1 グラウンド (西北西約500m)*2	【定点】*1 野鳥の森 (西約500m)*2
試料採取日		2016年3月16日	2016年3月16日
分析機関		株式会社 化研	株式会社 化研
核種	I-131(約8日)	ND	ND
	I-132(約2時間)	ND	ND
	Cs-134(約2年)	1.3E+04	2.1E+04
	Cs-136(約13日)	ND	ND
	Cs-137(約30年)	6.6E+04	1.1E+05
	Sb-125(約3年)	ND	ND
	Te-129m(約34日)	ND	ND
	Te-132(約78時間)	ND	ND
	Ba-140(約13日)	ND	ND
	Nb-95(約35日)	ND	ND
	Ru-106(約370日)	ND	ND
	Mo-99(約66時間)	ND	ND
	Tc-99m(約6時間)	ND	ND
	La-140(約40時間)	ND	ND
Ag-110m(約250日)	ND	ND	

*1 過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。

*2 1,2号機スタックからの距離

2. 評価 平成21年度に福島県で測定した土壌のガンマ線核種分析結果は以下の通りである。これと比較して高い濃度の放射性物質が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

< H21年度福島県による土壌分析結果 >

Cs-137:ND ~ 21Bq/kg・乾土, その他:ND